

施設名称	〔56〕東京都台東区立社会教育センター清島温水プール					
指定管理者の名称	アズビル株式会社	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他 4 4 施設					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益（単位：百万円）			
	24年	59,785	48,150	11,634		
	25年	61,887	49,624	12,263		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区東上野 6 - 1 6 - 8					
(2)設置目的	区民の身近なプールとしてスポーツ振興を図るだけではなく、健康づくりやリハビリ等、健康増進を目的としたスポーツ運営を行う。					
(3)利用者	区内在住・在勤・在学者					
(4)開館日・時間	開館日：第1・3・5週目の月曜日と年末年始(12/28-1/4)並びに 設備点検日を除く毎日 開館時間：9時から21時					
(5)規模	25m×15m（7コース） 延べ床面積 1,906㎡					
(6)人員体制	週40時間勤務 12名（社会教育センターも含む）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	区民のスポーツ活動への施設提供、スポーツ活動に関する資料の収集及び情報の提供、施設利用者のスポーツ活動に対する指導、助言及び相談、清島温水プール教室の実施					
(2)自主事業	各種水泳教室及び物品販売事業					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	50,402,400	51,131,000	50,481,000	52,105,000	52,160,000
	利用料金収入	19,065,000	22,600,000	23,300,000	20,520,000	21,310,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	69,467,400	73,731,000	73,781,000	72,625,000	73,470,000
決算	委託料	50,402,400	51,131,000	50,481,000	52,105,000	52,160,000
	利用料金収入	17,089,200	19,125,900	17,756,200	20,017,500	19,884,750
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	67,491,600	70,256,900	68,237,200	72,122,500	72,044,750
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
開館日数	日	307	297	320	326	
区委託教室	教室	6	6	6	6	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （27年度）	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	70,000	58,473	68,386	68,394	
教室参加人数	人	1,750	1,600	1,608	1,702	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

自主事業については、親子対象講座の内容を充実させるなど、新規利用者の拡大や多様な施設利用へのきっかけづくりに取り組んできた。また、小学生泳力向上教室を1・2年生と3年生以上を対象を分けて実施するなど、発達段階に応じたプログラムを展開し、より多くの利用者のニーズを捉えるよう努めている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	自主事業では、教室型事業で親子対象講座の内容を充実させるなどの取り組みにより、参加者が24年度の2,783人から3,048人へと増加した。また、1回ごとに参加できるレッスン型プログラムでも利用者のニーズを捉えた事業運営が行われている。
(2)施設の維持管理	A	日常的に区の節電方針に従った省エネ対策を行うだけでなく、指定管理者が工夫して省エネに取り組んでいる。また、施設・設備の安全点検や不具合への対応も迅速に行われている。
(3)利用者の満足度	A	自主事業については利用者からの声を反映させ、毎年見直しを実施しており参加者も増加している。また、所長への手紙など、利用者の意見をきめ細かく徴収・対応し、利用者の増加につなげている。
(4)収入支出	A	予算執行は適切に行われている。また、利用料金収入は昨年度をやや下回ったものの、利用者数は増加傾向にあり、管理経費の効率化を図るなど、適正な経営努力を行っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	協定書に基づいた適切な事業運営、施設管理が行われている。また、利用者の要望や区のスポーツ振興基本計画を踏まえた自主事業を実施し、利用者も増加傾向にある。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

引き続き利用者ニーズの把握に努めるとともに、講座内容や利用者対応の随時見直しを行い、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しみ、体力向上、健康づくりにつながる事業を展開することで、更なる利用者の拡大につなげていく。